

# 令和6年度 大島地区教育推進プラン

## 【本地区の特性】

- 奄美群島日本復帰71周年を迎える。有為な人材を数多く輩出し、「人材の島」「教育の島」と謳われている。
- 多数の小規模校や複式学級を有している。保護者や地域住民は、教育に対する関心が高く、学校に寄せる期待が大きい。
- 世界自然遺産にも登録された豊かな自然が残されており、文化財・天然記念物なども多く、方言や伝統芸能が大切に引き継がれている。
- 「結いの心」が受け継がれ、絆や助け合いを大切にする気風が残っている。
- 多くの若者が進学・就職のために、中学校卒業後や高等学校卒業後に島立ちをする。

## 【学校・園数、児童・生徒・教職員数】

学校種	園・校数
幼稚園	16(4)
小学校	81
中学校	45
高等学校	8(1)
特別支援学校	1

児童生徒数	8,664人
教職員数	1,342人

( )は私立別掲  
令和6年4月6日現在

## 奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進 ～人権教育を全ての教育の根幹に～

### 到達数値目標

豊かな心と健やかな体	「確かな学力」の定着	開かれた信頼される学校づくり																																												
<ol style="list-style-type: none"> <li>いじめ問題への適切な対応 1件でも多く認知する。 3か月が経過した事案の解消率 小・中学校共に 100%</li> <li>不登校の未然防止 在籍率 小0.84%以下 中4.54%以下 ※「新規」の不登校を出さない。</li> <li>体力・運動能力の向上 目標=下の種目をTスコア50以上に  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子</td> <td>50m走</td> <td>50m走</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>50m走</td> <td>長座体前屈</td> </tr> </tbody> </table>                     *小…2, 4～6年 中…1, 2年平均</li> <li>健康教育の充実  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>むし菌治療率</td> <td>70%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>栄養教諭の活用</td> <td colspan="2">各学校1回以上</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>読書運動の充実  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100冊以上</td> <td>40冊以上</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ol>		小学生	中学生	男子	50m走	50m走	女子	50m走	長座体前屈		小学校	中学校	むし菌治療率	70%	60%	栄養教諭の活用	各学校1回以上			小学校	中学校		100冊以上	40冊以上	<ol style="list-style-type: none"> <li>学力向上 (R6鹿児島学習定着度調査)  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>達成目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>各教科 通過率75%以上 各教科 県平均以上</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>各教科 通過率70%以上 各教科 県平均以上</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>一人一研究授業の確実な実施 実施率 小・中学校共に100%</li> <li>ICT活用 ICT機器(一人一台配備されたPC・タブレットなど)の授業での活用(週3回以上)  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>                     ※「教師が使って学ばせる」から「子供が使って学ぶ」活用を重視すること</li> </ol>		達成目標	小学校	各教科 通過率75%以上 各教科 県平均以上	中学校	各教科 通過率70%以上 各教科 県平均以上		小学校	中学校		100%	100%	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域人材を活用した自然・伝統文化的な体験活動の充実  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小・中学校共に</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年3回以上の実施率</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>不祥事根絶に向けた服務指導の徹底  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小・中学校共に</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全職員で分担する服務研修の実施率</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>学校の業務改善の推進</li> <li>学校事務の適正化</li> </ol>		小・中学校共に	年3回以上の実施率	100%		小・中学校共に	全職員で分担する服務研修の実施率	100%
	小学生	中学生																																												
男子	50m走	50m走																																												
女子	50m走	長座体前屈																																												
	小学校	中学校																																												
むし菌治療率	70%	60%																																												
栄養教諭の活用	各学校1回以上																																													
	小学校	中学校																																												
	100冊以上	40冊以上																																												
	達成目標																																													
小学校	各教科 通過率75%以上 各教科 県平均以上																																													
中学校	各教科 通過率70%以上 各教科 県平均以上																																													
	小学校	中学校																																												
	100%	100%																																												
	小・中学校共に																																													
年3回以上の実施率	100%																																													
	小・中学校共に																																													
全職員で分担する服務研修の実施率	100%																																													

### 大島地区学力向上プロジェクト

### 目標達成のための共通実践事項

<ol style="list-style-type: none"> <li>心を育てる教育活動の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>「人権尊重の理念」を上位に位置付けた学校経営の推進</li> <li>よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う「特別の教科 道徳」の充実</li> <li>ともに親しむ読書運動の充実</li> </ul> </li> <li>いじめ・不登校・問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応                     <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の自尊感情・自己有用感の育成と望ましい学級集団・人間関係づくりを深めるための授業や活動の実施(魅力ある学校づくりの推進)</li> <li>年5回以上の実態把握及び心情に寄り添った早期対応</li> <li>意図的・計画的な教育相談・働きかけ・支援の実施</li> </ul> </li> <li>体力・運動能力の向上                     <ul style="list-style-type: none"> <li>「運動大好きかごしまっ子」育成推進事業に基づく体力・運動能力の向上</li> <li>家庭・地域と連携した体力づくり</li> </ul> </li> <li>健康教育の充実、食育の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>現代的な健康課題への適切な対応</li> <li>学校教育全体を通じた食に関する指導の充実</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善—「大島モデル」の授業づくりの推進— 授業充実の3ポイントを踏まえた、児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」 【目標の明確化 山場の工夫 確かめ・見届け】 ※「確かめ・見届け」の充実を図る。 ※「書く」活動等(アット)の充実を図る。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者主体の授業づくり</li> <li>「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実</li> <li>諸学力調査の結果、かごしま学力向上支援Webシステム、演習問題の活用</li> <li>「学びの羅針盤」「大島の教育Pamphlet」の活用</li> </ul> </li> <li>授業力向上を図る研修等の充実</li> <li>家庭学習の充実「マイゴールチャレンジ」                     <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の「質」「量」の充実</li> <li>家庭学習の主体的な「ゴール」設定</li> <li>授業と連動した内容の充実やICTを活用した方法の工夫改善</li> </ul> </li> <li>カリキュラム・マネジメントの実現</li> <li>教育の情報化の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>情報活用能力(情報モラルも含む)の育成</li> <li>プログラミング教育及び遠隔・オンライン教育等の推進</li> <li>「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現に向けたタブレット端末等の活用</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>奄美のよさを生かし、地域に開かれた学校づくりの推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>地域学校協働活動の推進と積極的な人材活用</li> <li>学校評価と学校の教育活動の情報発信の工夫・充実</li> <li>島唄・島口、美ら島運動の充実</li> </ul> </li> <li>服務規律の厳正確保                     <ul style="list-style-type: none"> <li>職責感を高めるための「全職員で分担する服務研修」の実施</li> <li>個別服務指導強化期間(4月・5月)の個別指導徹底</li> <li>不祥事防止強化月間(8月・12月)における「参加型・体験型を取り入れた服務研修」の実施</li> </ul> </li> <li>学校の業務改善の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>学校における業務改善への積極的な取組</li> </ul> </li> <li>学校事務の適正化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>実効性のある自主検査の徹底</li> <li>学校事務指導の充実</li> <li>事務職員研修の内容と開催方法の改善・充実</li> </ul> </li> </ol>
---	--	---

### 『学びの羅針盤』『大島の教育Pamphlet 1～6』の活用

### 学校・家庭・地域が連携して取り組む三つの運動

「家庭学習マイゴールチャレンジ」 「ともに親しむ読書運動」 「島唄・島口、美ら島運動」

# 大島地区学力向上プロジェクト

## 本地区の学習指導に係る特色や課題

- ◆ **確かな学力の育成**  
特に、「自己肯定感」の高揚、「学びを調整する力」「自分の考えを表現(アウトプット)する力」の育成に課題
- ◆ **主体的・対話的で深い学びの実現に向けた日々の授業改善**  
特に、児童生徒の主体的な学び(課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと)や対話的な学び(話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすること)に課題
- ◆ **児童生徒の多様性を踏まえた学習指導・学習支援**  
ICTの活用による「個に応じた指導」の一層の推進、多様な学びの提供
- ◆ **郷土や地域の特色を生かした魅力ある授業づくり**  
奄美群島日本復帰・世界自然遺産等、地域素材の一層の活用

## 主な学力向上の取組

### 教育の情報化の推進

- 各教科・領域の内容に応じた情報活用能力の着実な育成
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けたICTの活用
- プログラミング教育及び遠隔・オンライン教育の推進

### 家庭学習の充実

- 「質の高い授業」の実現を支える「マイゴールチャレンジ」の推進
- 課題の内容の精選・方法の工夫(授業と連動した課題、不足している力を養う課題)

### 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- 大島モデルの授業づくり・「学習者主体の授業づくり」の推進、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 諸学力調査(児童生徒質問紙等を含む)の結果、かごしま学力向上支援Webシステム、演習問題の活用
- 「学びの羅針盤」「大島の教育Pamphlet I」の活用  
～授業改善の根底は、「学習者主体」であるという意識改革～

### 校内研修の充実

- 「学習者主体の授業」実現プロジェクトの実施
- 地区指定研究協力校、校内研修支援の実施
- 一人一研究授業、法定研修の充実

### カリキュラム・マネジメントの実現

- 各教科の特質を生かし、「学習者主体の授業」の実現に向けた教科等横断的な視点からの教育課程編成
- 学校全体における教育課程の実施状況の評価及び改善の徹底

## 【「大島モデル」の授業づくりの推進】

大島モデル…授業充実の3ポイントを踏まえた、児童生徒が自ら学びとる「質の高い授業」  
「目標の明確化」、「山場の工夫」、「確かめ・見届け」

～単元構想・授業デザインのポイント～

### ポイント1【目標の明確化】

ゴール(児童生徒が身に付ける力)が明確な授業(開始10分以内の導入)

【目指す児童生徒の姿】 ゴールに向けて主体的に見通しをもつ児童生徒の姿

### ポイント2【山場の工夫】

思考を深めるための学習活動や指導の工夫がある授業

【目指す児童生徒の姿】 見方・考え方を働かせ、使う道具や活動形態等を主体的に「選択・決定」し、学習に関する自己調整をしながら、ねばり強く知識・技能を獲得したり、思考・判断・表現しようとしていたりしている児童生徒の姿

### ポイント3【確かめ・見届け】

分かるようになった・できるようになった実感のある授業(ラスト10分間の充実)

【目指す児童生徒の姿】 主体的に自らの学びを振り返り、次時の学習につなぐ児童生徒の姿